

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援施設キッズプラスいろいろ				公表日	2026年 3月 27日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・発達幅により活動をグループ分けしています ・法令に遵守しスペースを確保しております	今後も発達や活動内容に応じてグループ分けをすることで活動しやすい環境整備に努めます	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・必要に応じた職員の加配を行っております ・指定基準以上の職員配置を行っております	・概ね適切だが、職員の数が増えることで、さらに質の良い療育が提供できると思います	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・マットなどを用いてコーナー分けをしたりしています	・バリアフリーにはなっておりません	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎日の清掃は欠かさず。エアコンや空気清浄機は定期的な清掃を行っています ・換気を行い、快適な空間づくりを行っています		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・子どもたちの状況に応じて空き部屋を使えるようにしております		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	8		・日々のミーティングや月1回以上のミーティングで話し合う機会を設けています。 ・支援後の振り返りを行い、次回の支援に繋げています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		ガイドラインアンケートを実施し、率直なご意見を頂いています。また、頂いた評価は職員全員で周知し改善のためのミーティングを行っております。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・パート勤務であっても時間を作り、意見できる機会を作っています		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		・現在第三者による外部評価は実施しておりません。今後検討してまいります。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・毎月の職員研修やその他外部の研修のお知らせがあり、受講している	・月に一度、職員研修日を設け、児童発達についての知識、理解を深める研修を行っております。 ・次年度は職員数を十分確保し、外部の研修にも積極的に参加できるよう環境を整備してまいります	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		公表はHPで行っております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		・日々の活動の様子をもとに、ひとりひとりに合った個別支援計画書の作成に努めております ・必要に応じてツールを使用しております		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	・勤務の都合で全員同時に会議に参加することは難しいが、全職員に周知し、意見を聞き、取り上げております		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		季節の行事や製作などを取り入れ、活動の幅を広げ、内容が固定化しないよう工夫をしております。その時々の子どもの興味や関心に焦点を当て、プログラムを作成しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	4	・パートタイムなど勤務時間や日数が違うと確認するタイミングがないことがあり、確認不足の時があるが、改善しようとしております ・前日に職員ミーティングをおこない、翌日の支援について確認を行っている。参加できない職員は別途共有しております	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・パートタイム職員もいるので全員ではないが毎日振り返りを行い、日誌にて共有しております ・パートタイム職員は支援終了後の打合せには参加できないので、なるべく記録の中に残して共有できるように努めております	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児発管だけでなく、必要に応じて保育士・指導員も参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		必要に応じて園に訪問し、連携を行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要な書類の作成は行っております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		・定期的にスーパーバイズを依頼し、支援に活かしております	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		・前期は姉妹園との交流を行っていましたが、後期は園の行事があり叶いませんでした。来年度は前もって連携をとり、予定を組むことで定期的に行いたいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	・支援場面を通じた学びの機会は、子育てサポートとして行っております。	・ペアレントトレーニングについては実施を検討中です	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約見学の際に丁寧に行っております。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		・LINEや電話送迎時にもできるだけ家族の話を聞き、寄り添った対応を心がけております。 ・家族支援や子育てサポートの機会を設けることで、気になることや不安な事、心配事をいつでも相談できる環境を整えております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		・家族交流デイを設けて、家族間の交流や悩みの共有などをするイベントを実施しております	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		・日々の記録も写真付きで、細かく様子がわかるように保護者へ発信しています。 ・月1回のお便りの発行、SNSなどを使用し、広く発信しております	・来年度からは年間行事予定表を配布します ・来年度よりHPのブログの更新も行っています
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		・書類は鍵付きの書庫で行っております。 ・写真の取り扱いについては、保護者に承諾を得ております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	・県内の大学が実施するワークショップに共同で参加させていただきました	・来年度は地域に事業所の活動内容を知ってもらうための取組を積極的に行ってまいります
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・訓練は定期的に行っております。 ・引き渡し訓練を行っております。 ・マニュアルは玄関にファイリングしたものをしております	・緊急時対応フローを玄関に掲示致します
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		・BCP研修等で職員間で話し合い、備えをしております	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		保護者や相談支援員を含めた担当者会議にて、服薬・発作などの聞き取りはしているが、予防接種についての聞き取りはしていません。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		・学校生活管理指導表投薬指示書を用いて管理を行っております。 ・一覧表は非常持出袋の中にも常備しております。	・現在アレルギー児への対応として、専用のトレーを用いる、専用の机で食べる事を徹底しておりますが、もっと重度のアレルギーのお子さんには別の対応が必要になると思われれます。その際には会議で検討を行い安全管理に努めます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		・ヒヤリハットを記録し、職員間でも共有しています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		・年2回、事業所内で実施しております	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	1	・現在、該当する利用者なし	・対象者がいれば慎重に検討を行ない、本人保護者へ充分説明の上、支援計画書に記載をします。	